**様式１-A　　　　日本周産期メンタルヘルス学会：自己申告によるＣＯＩ報告書**

論文題名：

（**著者全員**について**著者ごとに**、投稿時から遡って過去１年間以内での**論文内容に関係する**企業・組織または団体とのCOI状態を記載）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 該当の状況 | 有であれば、著者名：企業名などの記載  (例)日本太郎：大西洋製薬、富士山高志：ABC製薬 |
| 1. 報酬額   １つの企業・団体から年間100万円以上 | 有・無 |  |
| 1. 株式の利益   １つの企業から年間100万円以上。あるいは当該株式の５％以上保有 | 有・無 |  |
| 1. 特許使用料   １つにつき年間100万円以上 | 有・無 |  |
| 1. 講演料   1つの企業・団体から年間合計50万円以上 | 有・無 |  |
| 1. 原稿料   1つの企業・団体から年間合計50万円以上 | 有・無 |  |
| 1. 研究費・助成金などの総額   1つの企業・団体から所属部署に支払われた年間総額が200万円以上 | 有・無 |  |
| 1. 奨学（奨励）寄付などの総額   1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が200 万円以上 | 有・無 |  |
| 1. 企業などが提供する寄付講座   （企業などからの寄付講座に所属している場合に記載） | 有・無 |  |
| 1. 旅費・贈答品などの受領   1つの企業・団体から年間5万円以上 | 有・無 |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（本COI申告書は論文掲載後2年間保管されます）

（申告日）　　　　　年　　月　　日

申告者（署名）　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　㊞

※投稿論文が採択され雑誌に掲載された際には、申告されたCOI状態について、論文末尾、謝辞または引用文献の前に掲載いたします。開示すべきCOI状態がない場合にも、その旨を同部分に掲載いたします。

記載例：本論文に関連し、開示すべきCOI状態にある企業、組織、団体はいずれも有りません。